

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書		
令和〇〇年〇〇月〇〇日		
田辺市消防長 殿		
届出者		
住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇		
氏名 消防 太郎		
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇		
<p>下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。</p> <p style="text-align: center;">記</p>		
防 火 対 象 物	所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇	
	名称 〇〇〇〇〇	
	用途 〇〇〇〇	
	規模 地上 〇〇階 地下 〇〇階 延べ面積 〇〇 m <sup>2</sup>	
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類等	特定小規模施設用自動火災報知設備	
※受付欄	※経過欄	※備考

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消防設備士又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第3に記入し、添付すること。
- 3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
- 4 ※印欄は、記入しないこと。
- 5 点検期間のうち、消防用設備等と同時に特殊消防用設備等を点検する場合、その点検期間を（ ）へ記入すること。

特定小規模施設用自動火災報知設備点検票 (無線型連動方式)					
名称	〇〇〇〇			防火管理者	選任されていれば記入
所在	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇			立会者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日～令和〇〇年〇〇月〇〇日 (点検実施期間を記入してください。)		
点検者	氏名	点検者所属会社	社名	TEL	
	消防 太郎		住所		
製造者名	〇〇〇〇株式会社 〇〇〇〇-〇〇				
型式名	感第20-2号 (無線型連動方式) ※自動試験機能付きであることを記入				
点検項目		点検結果			措置内容
		種別・容量等の内容	判定	不良内容	
機器点検					
予備電源 (内蔵型) ・非常電源	外形表示				
	※端子電圧	V			
	※切替装置				
	※充電装置				
	※結線接続				
受信機	周囲の状況				
	外形表示				
	警戒区域の表示装置				
	電圧計	V			
	スイッチ類				
	ヒューズ類	A			
	※継電器				
	表示灯				
	通話装置				
	※結線接続				
中継器	接地				
	附属装置				
	※火災表示等	蓄積式			
		アナログ式			
		二信号式			
その他					
※注意表示					
回路導通					
設定表示温度等					
感知器作動等の表示					
予備品等					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
  - 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

別記様式第33

特定小規模施設用自動火災報知設備（その2）

感 状 況	外 形		○	←①	
	警 未 警 戒 部 分		○	←②	
	戒 感 知 区 域		○	←③	
	適 応 性		○	←④	
	機 能 障 害		○	←⑤	
知 器	※熱感知器 ス ポ ッ ト 型	差動 定温 (再) 熱アナログ	○	←⑥	
	※煙感知器 ス ポ ッ ト 型	イオン 光電 アナログ	○	←⑦	
	※炎 感 知 器	赤外線 紫外線			①～⑧の番号は別紙 「点検要領」の項目番 号となっています。 点検要領を確認して記 入してください。
	※多信号感知器・複合式感知器				
	遠隔試験機能を有する感知器				
発 信 機	周 囲 の 状 況				
	外 形				
	表 示				
	押しボタン・送受話器				
	表 示 灯				
音 響 装 置	外 形				
	取 付 状 態				
	音 圧 等				
	鳴 動 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 区分 相互 再鳴動	○	←⑧	
	※蓄 積 機 能				
	※二 信 号 機 能				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
- 7 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

別記様式第33

特定小規模施設用自動火災報知設備（その3）

自動試験機能	予備電源・非常電源								⑨⑩の番号は別紙「点検要領」の項目番号となっています。 点検要領を確認して記入してください。	
	受信機の火災表示									
	受信機の注意表示									
	受信機・中継器の制御機能・電路									
	感知器									
	感知器回路・ベル回路									
連動機能	連動型感知器〇〇台	〇	←⑨							
無線機能	無線型感知器〇〇台	〇	←⑩							
総合点検										
同時作動										
※煙感知器等の感度										
地区音響装置の音圧										
※総合作動										
備考										
	測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	
		加熱試験器								
		加煙試験器								
		外部試験器								
煙感知器用感度試験器										
炎感知器用作動試験器										

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
- 7 票中※の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。